



2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2019年2月5日

上場会社名 FCM株式会社

上場取引所 東

コード番号 5758 URL <http://www.fc-m.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川森 晋治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 丸山 仁

TEL 06-6975-1324

四半期報告書提出予定日 2019年2月5日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の業績(2018年4月1日～2018年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	17,388	△0.5	482	6.1	473	4.1	319	5.7
2018年3月期第3四半期	17,482	28.5	454	161.3	454	169.5	302	168.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	187.46	—
2018年3月期第3四半期	177.43	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第3四半期	12,243	4,657	38.0	2,733.99
2018年3月期	12,476	4,485	36.0	2,632.72

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 4,657百万円 2018年3月期 4,485百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	0.00	—	80.00	80.00
2019年3月期	—	0.00	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,622	0.5	581	△11.2	573	△11.9	401	△11.5	235.58

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期3Q	1,704,267 株	2018年3月期	1,704,267 株
② 期末自己株式数	2019年3月期3Q	596 株	2018年3月期	534 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期3Q	1,703,723 株	2018年3月期3Q	1,703,733 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断している一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間の経営成績は売上高17,388,699千円(前年同期比0.5%減)、営業利益482,936千円(前年同期比6.1%増)、経常利益473,201千円(前年同期比4.1%増)、四半期純利益319,374千円(前年同期比5.7%増)となりました。

セグメントの業績は以下のとおりです。

(電子機能材事業)

電子機器や電子部品に使用されている材料・部品の表面処理加工を主とする電子機能材事業では、売上高は5,179,137千円(前年同期比4.3%減)となりました。自動車、産業機器や医療機器関連が堅調な一方で、スマートフォンの販売台数が伸び悩むなか、コネクタ等の民生関連の生産が弱含みで推移しています。生産ラインの集約や原価低減の取り組みの結果、当セグメントの経常利益は280,285千円(前年同期比14.9%増)となりました。

(電気機能線材事業)

電線・配線用ケーブル・通信用ケーブルなどの伸線加工を主とする電気機能線材事業では、売上高は12,209,561千円(前年同期比1.2%増)となりました。当セグメントの主力である建設・電販向けだけでなく平角・異形線などもほぼ計画通りの推移となっており、当セグメントの経常利益は192,916千円(前年同期比8.4%減)となりました。

売上高

単位(千円)

	前第3四半期累計期間		当第3四半期累計期間		増減率
	金額	構成比	金額	構成比	
電子機能材事業	5,413,358	31.0%	5,179,137	29.8%	△4.3%
電気機能線材事業	12,068,680	69.0%	12,209,561	70.2%	1.2%
合計	17,482,039	100.0%	17,388,699	100.0%	△0.5%

加工売上高

単位(千円)

	前第3四半期累計期間		当第3四半期累計期間		増減率
	金額	構成比	金額	構成比	
電子機能材事業	2,594,412	72.8%	2,642,798	73.3%	1.9%
電気機能線材事業	969,751	27.2%	963,312	26.7%	△0.7%
合計	3,564,163	100.0%	3,606,111	100.0%	1.2%

(注) 当社では売上高から主要な材料費等を控除した金額を「加工売上高」と称し、経営指標として用いています。

(2) 財政状態に関する説明

(貸借対照表の状況)

総資産は12,243,150千円となり、前事業年度末に比べ233,459千円減少しました。これは現金及び預金の増加459,332千円、受取手形及び売掛金の減少654,150千円などによるものです。

負債は7,585,336千円となり、前事業年度末に比べ405,814千円減少しました。これは長期借入金の減少356,960千円、買掛金の減少320,935千円、短期借入金の増加300,000千円などによるものです。

純資産は4,657,814千円となり、前事業年度末に比べ172,355千円増加しました。これは、当第3四半期累計期間の四半期純利益、剰余金の配当及びその他有価証券評価差額金の減少を反映したものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期累計期間における現金及び現金同等物の残高は、前事業年度末に比べて459,332千円増加し、1,037,102千円となりました。

当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、906,991千円の収入(前年同四半期累計期間は1,176,756千円の収入)となりました。主な収入は税引前四半期純利益473,432千円、減価償却費408,492千円、売上債権の減少額752,041千円であり、主な支出は仕入債務の減少額320,935千円、法人税等の支払額265,522千円などであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出238,842千円などにより238,047千円の支出(前年同四半期累計期間は150,237千円の支出)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純増減による収入300,000千円、長期借入金の返済による支出356,940千円、配当金の支払額136,201千円などにより209,611千円の支出(前年同四半期累計期間は226,541千円の支出)となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期累計期間においては、両セグメントとも概ね計画通りの推移となりました。第4四半期においては、電子機能材事業の一部に弱含みの状況があるものの、予測の範囲内に収まると思われま

なお、2019年3月期の業績予想については、現時点での変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	577,770	1,037,102
受取手形及び売掛金	5,234,618	4,580,468
電子記録債権	1,164,454	1,066,563
仕掛品	473,512	436,951
原材料及び貯蔵品	526,227	534,681
その他	19,086	35,380
流動資産合計	7,995,670	7,691,147
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	904,661	854,169
機械及び装置(純額)	1,202,662	1,092,535
土地	1,863,981	1,863,981
リース資産(純額)	—	269,833
建設仮勘定	24,177	32,895
その他(純額)	213,413	191,825
有形固定資産合計	4,208,896	4,305,240
無形固定資産	20,280	16,112
投資その他の資産		
投資有価証券	37,860	23,697
繰延税金資産	203,258	197,924
その他	10,644	9,028
投資その他の資産合計	251,763	230,650
固定資産合計	4,480,939	4,552,003
資産合計	12,476,610	12,243,150

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2018年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,241,883	3,920,947
短期借入金	300,000	600,000
1年内返済予定の長期借入金	475,920	475,940
未払法人税等	199,848	66,848
役員賞与引当金	14,800	-
その他	532,619	367,999
流動負債合計	5,765,071	5,431,736
固定負債		
長期借入金	1,651,545	1,294,585
リース債務	-	282,918
退職給付引当金	502,818	534,125
その他	71,715	41,971
固定負債合計	2,226,078	2,153,599
負債合計	7,991,150	7,585,336
純資産の部		
株主資本		
資本金	687,749	687,749
資本剰余金	826,871	826,871
利益剰余金	2,965,595	3,148,670
自己株式	△1,247	△1,505
株主資本合計	4,478,967	4,661,785
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	6,491	△3,970
評価・換算差額等合計	6,491	△3,970
純資産合計	4,485,459	4,657,814
負債純資産合計	12,476,610	12,243,150

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
売上高	17,482,039	17,388,699
売上原価	16,017,618	15,806,228
売上総利益	1,464,420	1,582,470
販売費及び一般管理費	1,009,458	1,099,533
営業利益	454,962	482,936
営業外収益		
受取利息	6	7
受取配当金	1,041	793
助成金収入	-	427
受取賃貸料	3,231	3,231
スクラップ売却益	1,502	1,401
固定資産税還付金	3,389	-
その他	3,428	2,755
営業外収益合計	12,599	8,616
営業外費用		
支払利息	6,894	12,987
売上割引	4,299	4,611
賃貸費用	761	739
その他	1,116	12
営業外費用合計	13,071	18,352
経常利益	454,490	473,201
特別利益		
固定資産売却益	1,499	1,499
特別利益合計	1,499	1,499
特別損失		
固定資産除却損	7,888	1,268
特別損失合計	7,888	1,268
税引前四半期純利益	448,101	473,432
法人税、住民税及び事業税	160,930	144,123
法人税等調整額	△15,120	9,934
法人税等合計	145,810	154,058
四半期純利益	302,291	319,374

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	448,101	473,432
減価償却費	385,819	408,492
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△2,300	△14,800
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	45,833	31,306
受取利息及び受取配当金	△1,048	△801
支払利息	6,894	12,987
有形固定資産売却損益 (△は益)	△1,499	△1,499
固定資産除却損	7,888	1,268
売上債権の増減額 (△は増加)	△943,178	752,041
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△26,942	28,106
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,274,074	△320,935
その他	87,398	△184,846
小計	1,281,041	1,184,753
利息及び配当金の受取額	1,048	801
利息の支払額	△6,857	△13,041
法人税等の支払額	△99,136	△265,522
その他	661	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,176,756	906,991
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△915	△900
有形固定資産の取得による支出	△148,552	△238,842
有形固定資産の売却による収入	7,380	1,500
無形固定資産の取得による支出	△8,404	-
その他	254	195
投資活動によるキャッシュ・フロー	△150,237	△238,047
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	200,000	300,000
長期借入れによる収入	100,000	-
長期借入金の返済による支出	△471,934	△356,940
ファイナンス・リース債務の返済による支出	-	△16,211
自己株式の取得による支出	-	△257
配当金の支払額	△54,607	△136,201
財務活動によるキャッシュ・フロー	△226,541	△209,611
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	799,978	459,332
現金及び現金同等物の期首残高	129,237	577,770
現金及び現金同等物の四半期末残高	929,215	1,037,102

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	電子機能材事業	電気機能線材事業	合計
売上高			
(1) 外部顧客への売上高	5,413,358	12,068,680	17,482,039
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	5,413,358	12,068,680	17,482,039
セグメント利益	243,983	210,507	454,490

(注) 1.セグメント利益の合計は、四半期損益計算書の経常利益と一致しております。

2.セグメント利益には適当な配賦基準によって各報告セグメントに配賦された全社費用を含んでおります。なお、財務収益費用についても全社的に管理されておりますが、金額的影響が軽微であるため各報告セグメントに配賦しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	電子機能材事業	電気機能線材事業	合計
売上高			
(1) 外部顧客への売上高	5,179,137	12,209,561	17,388,699
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	5,179,137	12,209,561	17,388,699
セグメント利益	280,285	192,916	473,201

(注) 1.セグメント利益の合計は、四半期損益計算書の経常利益と一致しております。

2.セグメント利益には適当な配賦基準によって各報告セグメントに配賦された全社費用を含んでおります。なお、財務収益費用についても全社的に管理されておりますが、金額的影響が軽微であるため各報告セグメントに配賦しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。